

単体レバレッジ比率の構成に関する事項（平成28年6月期）

直前の四半期との比較

（平成26年金融庁告示第7号、別紙様式第七号）

（単位：百万円、％）

国際様式 （表2） の該当番 号	国際様式 （表1） の該当番 号	項目	当四半期末	前四半期末
オン・バランス資産の額 （1）				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	5,918,672	6,101,239
1a	1	貸借対照表における総資産の額	5,991,794	6,156,796
1b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 （△）	73,121	55,557
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額（△）	9,617	10,231
3		オン・バランス資産の額（イ）	5,909,055	6,091,007
デリバティブ取引等に関する額 （2）				
4		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	26,131	16,464
5		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	11,443	14,203
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	971	703
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額（△）	-	-
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額（△）		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額（△）	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額（ロ）	38,546	31,371
レポ取引等に関する額 （3）				
12		レポ取引等に関する資産の額	-	-
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額（△）	-	-
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	1,032	922
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額（ハ）	1,032	922
オフ・バランス取引に関する額 （4）				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	357,531	320,609
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額（△）	272,782	243,689
19	6	オフ・バランス取引に関する額（ニ）	84,749	76,920
単体レバレッジ比率 （5）				
20		資本の額（ホ）	351,983	349,423
21	8	総エクスポージャーの額（（イ）+（ロ）+（ハ）+（ニ））（ヘ）	6,033,383	6,200,222
22		単体レバレッジ比率（（ホ）/（ヘ））	5.83	5.63

（注）山口銀行は平成27年6月末より連結子法人等を有しない国際統一基準行として単体レバレッジ比率を開示しております。